

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	コリウダ`ホ`カク`ジン`ホ`ヤ`ホ`ク 国立大学法人 名古屋大学								
フリガナ大学の名称	ホ`ヤ`ホ`ク`カ`ク`イン 名古屋大学大学院 (Graduate School of Nagoya University)								
大学本部の位置	愛知県名古屋市千種区不老町1								
大学の目的	名古屋大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより、文化の進展に寄与するとともに、学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者の養成を目的とする。								
新設学部等の目的	<p>近年の医学・医療の進歩と生活環境の改善による平均寿命の延長と出生率の低下は、生産年齢人口の減少と従属人口の増大をもたらし、そのため、国民の健康維持と疾病・障害からの速やかな回復・社会復帰は今や重大な課題となっている。このような社会情勢の下で、より一層健全な未来社会を構築するための医学と医療関連科学の進歩・発展及び専門分化は目覚ましく、医療技術も日毎に高度化・複雑化している。</p> <p>本研究科は、これらの情勢に対応するため、医療技術の理論と実践を科学的に追及する医療技術科学を学問領域として確立させ、その科学、技術学及び実践技術を研究・教授し、幅広い基礎と高度な専門知識及び問題解決能力、感性ある人間性豊かな資質を備えた医療技術者、教育者及び研究者を育成することを目的として設置された。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	14条特例の実施
	医学系研究科 (Graduate School of Medicine)  総合保健学専攻 (Department of Integrated health Sciences) (博士前期課程)	年	人	年次人	人	修士(看護学) 【Master of Nursing】  修士(医療技術学) 【Master of Radiological and Medical Laboratory Sciences】  修士(リハビリテーション療法学) 【Master of Physical and Occupational Therapy】	令和2年4月 第1年次	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	

新設学部等の概要	(博士後期課程)	3	20	—	60	博士(看護学) 【Doctor of Nursing】 博士(医療技術学) 【Doctor of Radiological and Medical Laboratory Sciences】 博士(リハビリテーション療法学) 【Doctor of Physical and Occupational Therapy】	令和2年4月第1年次	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	14条特例の実施
	計		90	—	200				
同一設置者内における変更状況(定員の移行, 名称の変更等)		<del>医学系研究科 看護学専攻(廃止) (博士前期課程) (△18) (博士後期課程) (△6)</del> <del>医療技術学専攻(廃止) (博士前期課程) (△20) (博士後期課程) (△7)</del> <del>リハビリテーション療法学専攻(廃止) (博士前期課程) (△10) (博士後期課程) (△4)</del> ※令和2年4月学生募集停止							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	医学系研究科 総合保健学専攻	講義	演習	実験・実習	計				
		57科目 15科目	12科目 18科目	16科目 1科目	85科目 34科目	30単位 8単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	医学系研究科 総合保健学専攻 (博士課程)	教授 25 (30)	准教授 21 (21)	講師 4 (6)	助教 22 (22)	計 72 (79)	助手 0 (0)	兼任 29 (29)
	計		25 (30)	21 (21)	4 (6)	22 (22)	72 (79)	0 (0)	29 (29)
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	既設分	人文学研究科 人文学専攻 (博士課程)	教授 46 (46)	准教授 50 (50)	講師 1 (1)	助教 7 (7)	計 104 (104)	助手 0 (0)	兼任 16 (16)
		教育発達科学研究科 教育科学専攻 (博士課程)	13 (13)	8 (8)	1 (1)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	6 (6)
		心理発達科学専攻 (博士課程)	7 (7)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)
		法学研究科 総合法政専攻 (博士課程)	29 (29)	10 (10)	15 (15)	2 (2)	56 (56)	2 (2)	7 (7)
	実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	

学 部 等 の 名 称	専任教員等					兼 任 教 員 等	
	教授	准教授	講師	助教	計		助手
経済学研究科							
社会経済システム専攻 (博士課程)	10 (10)	11 (11)	1 (1)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	1 (1)
産業経営システム専攻 (博士課程)	8 (8)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
情報学研究科							
数理情報学専攻 (博士課程)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
複雑系科学専攻 (博士課程)	12 (12)	6 (6)	2 (2)	3 (3)	23 (23)	0 (0)	2 (2)
社会情報学専攻 (博士課程)	2 (2)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	4 (4)
心理・認知科学専攻 (博士課程)	5 (5)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
情報システム学専攻 (博士課程)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	12 (12)	0 (0)	10 (10)
知能システム学専攻 (博士課程)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	5 (5)	13 (13)	0 (0)	10 (10)
理学研究科							
素粒子宇宙物理学専攻 (博士課程)	8 (8)	14 (14)	6 (6)	12 (12)	40 (40)	0 (0)	27 (27)
物質理学専攻 (博士課程)	16 (16)	13 (13)	8 (8)	18 (18)	55 (55)	0 (0)	18 (18)
生命理学専攻 (博士課程)	9 (9)	8 (8)	12 (12)	10 (10)	39 (39)	0 (0)	16 (16)
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士課程)	58 (57)	48 (49)	24 (27)	48 (43)	178 (176)	0 (0)	0 (0)
医学系研究科							
総合医学専攻 (博士課程)	68 (68)	54 (54)	36 (36)	81 (81)	239 (239)	0 (0)	207 (207)
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	68 (68)	11 (11)	1 (1)	0 (0)	80 (80)	0 (0)	0 (0)
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	68 (68)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	80 (80)	0 (0)	0 (0)
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	68 (68)	8 (8)	1 (1)	1 (1)	78 (78)	0 (0)	0 (0)
医科学専攻 (修士課程)	36 (36)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	0 (0)
工学研究科							
有機・高分子化学専攻 (博士課程)	6 (6)	6 (6)	3 (3)	7 (7)	22 (22)	0 (0)	2 (2)
応用物質化学専攻 (博士課程)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	8 (8)	19 (19)	0 (0)	2 (2)
生命分子工学専攻 (博士課程)	5 (5)	6 (6)	1 (1)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	5 (5)
応用物理学専攻 (博士課程)	8 (8)	7 (7)	1 (1)	9 (9)	25 (25)	0 (0)	3 (3)
物質科学専攻 (博士課程)	7 (7)	5 (5)	1 (1)	10 (10)	23 (23)	0 (0)	4 (4)
材料デザイン工学専攻 (博士課程)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	4 (4)	12 (12)	0 (0)	4 (4)
物質プロセス工学専攻 (博士課程)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	7 (7)	15 (15)	0 (0)	6 (6)
化学システム工学専攻 (博士課程)	4 (4)	6 (6)	1 (1)	7 (7)	18 (18)	0 (0)	5 (5)
電気工学専攻 (博士課程)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	4 (4)	12 (12)	0 (0)	12 (12)
電子工学専攻 (博士課程)	6 (6)	4 (4)	2 (2)	8 (8)	20 (20)	0 (0)	8 (8)
情報・通信工学専攻 (博士課程)	6 (6)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	17 (17)	0 (0)	5 (5)
機械システム工学専攻 (博士課程)	9 (9)	12 (12)	1 (1)	12 (12)	34 (34)	0 (0)	2 (2)
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士課程)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	8 (8)	20 (20)	0 (0)	1 (1)

教員組織の概要

既設分

学部等の名称	専任教員等					助手	兼任教員等
	教授	准教授	講師	助教	計		
工学研究科							
航空宇宙工学専攻 (博士課程)	6 (6)	2 (2)	4 (4)	7 (7)	19 (19)	0 (0)	4 (4)
エネルギー理工学専攻 (博士課程)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	5 (5)	13 (13)	0 (0)	4 (4)
総合エネルギー工学専攻 (博士課程)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	2 (2)
土木工学専攻 (博士課程)	6 (6)	7 (7)	1 (1)	6 (6)	20 (20)	0 (0)	12 (12)
生命農学研究科							
森林・環境資源科学専攻 (博士課程)	8 (8)	7 (7)	4 (4)	3 (3)	22 (22)	0 (0)	3 (3)
植物生産科学専攻 (博士課程)	6 (6)	5 (5)	2 (2)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	14 (14)
動物科学専攻 (博士課程)	6 (6)	7 (7)	3 (3)	6 (6)	22 (22)	0 (0)	7 (7)
応用生命科学専攻 (博士課程)	17 (17)	16 (16)	9 (9)	10 (10)	52 (52)	0 (0)	7 (7)
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻 (博士課程)	48 (48)	44 (46)	14 (17)	26 (23)	132 (134)	0 (0)	0 (0)
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻 (博士課程)	40 (40)	45 (45)	17 (17)	23 (23)	125 (125)	0 (0)	2 (2)
国際開発研究科							
国際開発協力専攻 (博士課程)	10 (10)	7 (7)	2 (2)	5 (5)	24 (24)	0 (0)	14 (14)
多元数理科学研究科							
多元数理科学専攻 (博士課程)	24 (24)	20 (20)	1 (1)	8 (8)	53 (53)	0 (0)	1 (1)
環境学研究科							
地球環境科学専攻 (博士課程)	18 (18)	10 (10)	2 (2)	7 (7)	37 (37)	0 (0)	31 (31)
都市環境学専攻 (博士課程)	12 (12)	10 (10)	1 (1)	5 (5)	28 (28)	0 (0)	3 (3)
社会環境学専攻 (博士課程)	11 (11)	13 (13)	0 (0)	1 (1)	25 (25)	0 (0)	0 (0)
創薬科学研究科							
基盤創薬学専攻 (博士課程)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	8 (8)	18 (18)	0 (0)	0 (0)
計	512 (512)	391 (391)	129 (129)	317 (317)	1,349 (1,349)	2 (2)	- (-)
合計	476 (476)	391 (391)	129 (129)	317 (317)	1,313 (1,313)	2 (2)	- (-)
教員以外の職員の概要	職種	専任		兼任		計	
	事務職員	674 (674)		1,285 (1,285)		1,959 (1,959)	
	技術職員	1,725 (1,725)		800 (800)		2,525 (2,525)	
	図書館専門職員	51 (51)		-		51 (51)	
	その他の職員	1 (1)		159 (159)		160 (160)	
計	2,451 (2,451)		2,244 (2,244)		4,695 (4,695)		
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	617,966 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	617,966 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	105,994 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	105,994 m <sup>2</sup>		
	小計	723,960 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	723,960 m <sup>2</sup>		
	その他	2,495,186 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,495,186 m <sup>2</sup>		
合計	3,219,146 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	3,219,146 m <sup>2</sup>			

既設分

申請大学全体

申請大学全体  
うち附属病院  
51,789m<sup>2</sup>

校舎		専用	共用	共用する他の 学校等の専用	計	申請大学全体				
		578,743 m <sup>2</sup> (578,743 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	578,743 m <sup>2</sup> (578,743 m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体				
	234室	240室	1,326室	17室 (補助職員 1人)	14室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数						
		医学系研究科 総合保健学専攻		82 室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	医学系研究科総合保健学専攻	39,914 [4,754] (39,914 [4,754])	1,088 [179] (1,088 [179])	8,072 [7,966] (8,072 [7,966])	884 (884)	0 (0)	0 (0)			
	計	39,914 [4,754] (39,914 [4,754])	1,088 [179] (1,088 [179])	8,072 [7,966] (8,072 [7,966])	884 (884)	0 (0)	0 (0)			
図書館		面積		閲覧座席数	収納可能冊数	申請大学全体				
		24,829 m <sup>2</sup>		2,031 席	3,140,500 冊					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要			申請大学全体			
		9,229 m <sup>2</sup>		弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1カ所)						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による
		教員1人当り研究費等		—	—	—	—	—	—	
		共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
		図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
— 千円		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし							

既設大学等の状況	大学の名称	国立大学法人 名古屋大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
	文学部	年	人	年次人	人		倍	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	人文学科	4	125	3年次10	520	学士（文学）	1.04	平成8年度		
	教育学部				280			昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士（教育学）	1.09	平成9年度		
	法学部				620			昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士（法学）	1.05	平成9年度		
	経済学部				840		1.05	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
	経済学科	4	140		560	学士（経済学）		昭和24年度		
	経営学科	4	65		260	学士（経済学）		昭和24年度		
	学部共通			3年次10	20					
	情報文化学部				—			平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
	自然情報学科	4	—		—	学士（情報文化学）	—	平成5年度		
	社会システム情報学科	4	—		—	学士（情報文化学）	—	平成5年度		
	学部共通			3年次10	20					
	情報学部				405		1.03	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	自然情報学科	4	38	—	114	学士（情報学）	1.04	平成29年度		
	人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士（情報学）	0.98	平成29年度		
	コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士（情報学）	1.07	平成29年度		

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	理学部				1,080		1.05	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
	数理学科	4	55	—	220	学士(理学)	—	平成7年度			
	物理学科	4	90	—	360	学士(理学)	—	昭和24年度			
	化学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	昭和24年度			
	生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	平成8年度			
	地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)	—	平成4年度			
	医学部				1,494			昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
	医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	昭和24年度			
	保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03	平成9年度			
工学部				2040		1.02	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止		
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成8年度				
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成9年度				
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成7年度				
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成6年度				
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成8年度				
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度				
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度				
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度				
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度				
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度				
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度				
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度				
農学部				680		1.07	昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08	平成18年度				
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06	平成18年度				
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07	平成18年度				
合計		2,107	3年次 55 2年次 —	7,979							

既設大学等の状況	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	文学研究科 人文学専攻 (博士前期課程)  (博士後期課程)	2  3	—  —	—  —	—  —	修士(文学) 修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—  —	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
	人文学研究科 人文学専攻 (博士前期課程)  (博士後期課程)	2  3	104  61	—  —	208  183	修士(文学) 修士(歴史学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.99  0.73	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	教育発達科学研究科 教育科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)  心理発達科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2  3  2  3	32  16  22  15	—  —  —  —	64  48  44  45	修士(教育学) 修士(教育) 博士(教育学) 博士(教育)  修士(心理学) 修士(臨床心理学) 博士(心理学)	0.73  0.70  0.88  0.86	昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度  平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	法学研究科 総合法政専攻 (博士前期課程)  (博士後期課程)  実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	2  3  3	35  17  50	—  —  —	70  51  150	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学) 博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)  法務博士(専門職)	0.38  0.42  0.66	昭和28年度 平成16年度  平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	経済学研究科 社会経済システム専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)  産業経営システム専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2  3  2  3	30  15  14  7	—  —  —  —	60  45  28  21	修士(経済学) 修士(経営管理学) 博士(経済学)  修士(経済学) 博士(経済学)	1.01  0.51  1.06  0.75	昭和28年度 平成12年度  平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	



	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
既設大学等の状況	情報学研究科							平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
	数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.91		
	複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.79		
	社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66		
	心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99		
	情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55		
	知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83		
	理学研究科							昭和28年度	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05	平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88			
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20	平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66			
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05	平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42			
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度		

	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	医学系研究科							昭和30年度 (平成14年度 名称変更)	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学 定員減(△2人)	
	総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12	平成25年度			
	名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度			
	名古屋大学・ルンド大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度			
	名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度		平成30年10月学生 受入開始	
	医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87	平成13年度			
	医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
	看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—	平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	令和2年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
	医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—	平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	令和2年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
	リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—	平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	令和2年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
	工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	化学・生物工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—					
電子情報システム専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—					
機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—					

	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
既設大学等の状況	航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	社会基盤工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	結晶材料工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	量子工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	物質制御工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	計算理工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より 学生募集停止
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—			
	有機・高分子化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11	平成29年度		
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29			
	応用物質化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01	平成29年度		
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24			
	生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度		
	(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88			
	応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度		
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33			
	物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度		
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25			

既設大学等の状況	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16		
	物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62		
	化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41		
	電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81		
	電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66		
	情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58		
	機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44		
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49		
	航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79		
	エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53		
	総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58		
	土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	
	(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44		

	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	生命農学研究科							昭和30年度 (平成9年度 名称変更)	愛知県名古屋市千種区不老町1		
	生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成11年度		平成30年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
	生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成9年度		平成30年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
	応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成10年度		平成30年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
	生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	平成16年度		平成30年度より 学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
	森林・資材科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.09	平成30年度		森林・資材科学 専攻(博士後期 課程)平成31年 度入学定員減 (△1人)	
	(博士後期課程)	3	7	—	13	博士(農学)	0.46				
	植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.11	平成30年度			
	(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(農学)	0.60				
	動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	0.98	平成30年度			
	(博士後期課程)	3	7	—	14	博士(農学)	0.21				
	応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.04	平成30年度			応用生命科学専 攻(博士後期課 程)平成31年 度入学定員減(△ 1人)
	(博士後期課程)	3	17	—	33	博士(農学)	0.57				
	名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度			
名古屋大学・西オー ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度				

	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
既設大学等の状況	国際開発研究科							平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止		
	国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	平成3年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—					
	国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	平成4年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—					
	国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—	平成5年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—					
	国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度				
	(博士後期課程)	3	22	—	44	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61					
	多元数理科学研究科							平成7年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	
	多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06	平成7年度				
	(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49					
国際言語文化研究科							平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止			
日本言語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—	平成10年度					
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—						
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—	平成10年度					
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—						

	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
既設大学等の状況	環境学研究科							平成13年度	愛知県名古屋千種区不老町1	地球環境科学専攻 (博士前期課程) 平成29年度入学定員減(△1人) (博士後期課程) 平成29年度入学定員減(△1人) 社会環境学専攻 (博士前期課程) 平成29年度入学定員減(△9人) (博士後期課程) 平成29年度入学定員減(△5人)		
	地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学) 修士(理学)	0.87	平成13年度				
	(博士後期課程)	3	24	—	72	博士(環境学) 博士(理学)	0.57					
	都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24	平成13年度				
	(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37					
	社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84	平成13年度				
	(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48					
	情報科学研究科							平成15年度			愛知県名古屋千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
	計算機数理学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—					
	情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—					
	メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度				
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度					
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	平成15年度					
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						

既設大学等の状況	研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13	平成24年度	愛知県名古屋千種区不老町1
		3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66	平成24年度	
								平成26年度	
合計 博士前期課程 博士後期課程 博士課程 修士課程 専門職学位課程		1,634 566 161 30 50	0 0 — — —	3,268 1,702 644 50 150					

既設大学等の状況	名称	目的	所在地	設置年月	規模等 (延面積)
					7,397㎡
附属施設の概要	環境医学研究所	教育・研究	愛知県名古屋千種区不老町1	昭和21年3月	7,397㎡
	アイソトープ総合センター			昭和51年5月	2,130㎡
	遺伝子実験施設			昭和59年4月	1,953㎡
	国際教育交流センター・国際言語センター			平成23年4月	2,727㎡
	物質科学国際研究センター			平成10年4月	8,057㎡
	高等教育研究センター			平成10年4月	405㎡
	農学国際教育協力研究センター			平成11年4月	510㎡
	博物館			平成12年4月	2,812㎡
	心の発達支援研究実践センター			平成27年4月	38㎡
	法政国際教育協力研究センター			平成14年4月	2,149㎡
	生物機能開発利用研究センター			平成15年4月	2,619㎡
	未来材料・システム研究所			平成27年10月	11,276㎡
	シンクロトロン光研究センター			平成19年4月	502㎡
	基礎理論研究センター			平成22年4月	1,173㎡
	現象解析研究センター			平成22年4月	
	未来社会創造機構			平成26年4月	6,118㎡
	減災連携研究センター			平成24年1月	2,720㎡
	細胞生理学研究センター			平成24年4月	738㎡
	ナショナルコンポジットセンター			平成26年1月	1,987㎡
予防早期医療創成センター	平成27年7月	585㎡			



附属施設の概要	名 称	目 的	所在地	設置年月	規模等 (延面積)
	宇宙地球環境研究所	教育・研究	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成27年10月	10,634㎡
	トランスフォーマティブ生命分子研究所			平成25年4月	7,109㎡
	総合保健体育科学センター			昭和50年4月	1,993㎡
	脳とこころの研究センター		愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	平成25年12月	267㎡
	神経疾患・腫瘍分子医療研究センター			平成15年4月	634㎡
	医学教育研究支援センター			平成16年5月	6,033㎡
	学生相談総合センター	教育研究・管理運営支援	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成13年4月	670㎡
	情報基盤センター	研究, 教育等に 係る情報化を推 進するための実 践的調査研究及 び情報技術支援		平成21年4月	5,126㎡
	医学部附属病院	医学の研究, 教 育及び診療		愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	昭和24年5月

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(新設 医学系研究科総合保健学専攻 博士前期課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	全研究科共通科目	プロフェッショナル・リテラシー	1前	1			○								兼1
		リサーチ・スキルズA-1	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズA-2	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズB-1	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズB-2	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズB-3	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズB-4	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-1	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-2	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-3	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-4	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-5	1前	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズC-6	1後	2			○								兼1
		リサーチ・スキルズD-1	1前	2			○								兼1
専攻共通科目	生命倫理学	1前	2			○			2	1					オムニバス
	病態生理学概論	1後	2			○			12						オムニバス
	コンサルテーション論	1後	2			○			1	4		5			オムニバス 共同 (一部)
	保健医療データ活用法入門	1前	2			○			2	2					オムニバス
	保健医療技術概論	1前	2			○			7	6	1				オムニバス
	基礎医科学実習	1・2通	2					○	1						
小計 (20科目)		—	0	39	0	—	—	—	21	11	1	5	0	兼7	—
専門科目 I	コース共通科目	生命情報学特論	1前	2			○		1	2					オムニバス
		社会健康情報学特論	1前	2			○		1	2					オムニバス
		トータルヘルスプランナー特論	1後	2			○		7	4		2			オムニバス 共同 (一部)
		トータルヘルスプランナー実践論	2前	2			○		1	1		1			兼2 オムニバス・集中 共同 (一部)
		保健学セミナー	1・2通	2			○		2	1					共同
		アジアのヘルスケアシステム概論	1後	2			○					1			兼2 共同
	看護学コース	★看護教育論	1通	2			○		1	2	1				オムニバス
		★看護理論	1後	2			○		2	1					オムニバス
		★看護学研究方法論	1前	2			○		3	2	1				オムニバス
		★看護管理論	1前	2			○		1	1		1			兼1 オムニバス
		★フィジカルアセスメント	1前	2			○		1						兼1 オムニバス・集中 共同 (一部)
		★臨床薬理学	1前	2			○		1	1					兼1 オムニバス
		★看護システム・ケア開発学特論	1前	2			○		2	2		3			オムニバス
		★高度実践看護開発学特論	1前	2			○		2	2	1	3			オムニバス 共同 (一部)
★臨床がん看護学 I 特論		1前	2			○		1	1		1			共同	
★臨床がん看護学 II 特論		1前	2			○		1	1		1			共同	
医療技術学コース	★がん看護病態生理学	1前	2			○		1	1		1			兼1 オムニバス 共同 (一部)	
	★次世代育成看護学特論 I	1前	2			○		3	2		3			オムニバス	
	★次世代育成看護学特論 II	1後	2			○		1						オムニバス	
	母子援助論	2後	1			○		1	2		2			兼1 オムニバス	
	ウィメンズヘルス論	2後	1			○			1						
	国際母子保健 I	2前	1			○		1						兼1 オムニバス・集中	
	国際母子保健 II	2前	1			○		1						兼1 オムニバス・集中	
	★地域包括ケア開発看護学特論 I	1前	2			○		1			1			オムニバス 共同 (一部)	
★地域包括ケア開発看護学特論 II	1前	2			○		1	2							
医療技術学コース	●医用画像工学特論	1前・2前	2			○		1	2		1			オムニバス・隔年	
	●医用画像解析学特論	1前・2前	2			○		2		2				オムニバス・隔年	
	●医用量子科学特論	1前・2前	2			○		1	2		1			オムニバス・隔年	
	●医用機能画像評価学特論	1前・2前	2			○		2	1					オムニバス・隔年	
	医学物理学特論	1後	2			○			3		1			オムニバス	
	放射線腫瘍学特論	1通	2			○								兼5 オムニバス	
	●生体防御情報科学特論	2前	2			○		2	2	1				オムニバス	
	●病態情報科学特論	1後	2			○		2	1		2			オムニバス	
	●細胞遺伝子情報科学特論	2後	2			○		2	1		1			オムニバス	
	●生体分子情報科学特論	1前	2			○		1	2	1				オムニバス	

専 門 科 目 I	リハビリテーション療法学コース	■ リハビリテーション療法学特論Ⅰ	1前	2		○		4	1		3			オムニバス 共同（一部）
		■ リハビリテーション療法学特論Ⅱ	1前	2		○		4	1	1	2			オムニバス 共同
		■ リハビリテーション研究実践セミナー	1後	2			○		8	2	1	5		オムニバス 共同・集中
		小計（39科目）	—	0	74	0	—	30	21	6	20	0	兼16	—
専 門 科 目 II	コース共通科目	生命情報学実習	1・2通	2			○		1					
		社会健康情報学実習	1・2通	2			○		1	1				
	看護学コース	看護システム・ケア開発学セミナー	1後	2			○		2	2		3		共同
		看護システム・ケア開発学実習	1・2通	2				○	2	2		3		共同
		高度実践看護開発学セミナー	1後	2			○		2	2	1	2		共同（一部）
		高度実践看護開発学実習	1・2通	2				○	2	2	1	2		共同（一部）
		臨床がん看護学セミナーⅠ	1後	2			○		1	1		1		共同
		臨床がん看護学セミナーⅡ	1後	2			○		1	1		1		共同
		臨床がん看護学セミナーⅢ	1後	4			○		1	1		1		兼4 オムニバス 共同（一部）
		臨床がん看護学課題実習Ⅰ	1通	2				○	1	1		1		共同
		臨床がん看護学課題実習Ⅱ	2通	3				○	1	1		1		共同
		臨床がん看護学課題実習Ⅲ	2通	4				○	1	1		1		兼1 共同
		臨床がん看護学課題実習Ⅳ	2通	1				○	1	1		1		共同
		次世代育成看護学セミナー	1後	2			○		3	2				オムニバス
	次世代育成看護学実習	1・2通	2				○	3	2					
	地域包括ケア開発看護学セミナー	1後	2			○		2	2		2		共同（一部）	
	地域包括ケア開発看護学実習	1・2通	2				○	2	2		1		共同（一部）	
医療技術学コース	医用量子科学実習Ⅰ	1・2通	2				○	3	2	2				
	医用量子科学実習Ⅱ	1・2通	2				○	3	3					
	基礎医学物理学実習	1通	2			○			3		1		オムニバス	
	臨床医学物理学実習	1通	2				○		3		1		オムニバス	
	オミックス医療科学実習Ⅰ	1・2通	2				○	4	2					
	オミックス医療科学実習Ⅱ	1・2通	2				○	2	2					
リハビリテーション療法学コース	リハビリテーション療法学セミナーⅠ	1通	4			○		8	2	1				
	リハビリテーション療法学セミナーⅡ	2前	2			○		8	2	1				
	小計（25科目）		0	56	0	—	30	21	4	8	0	兼7	—	
	特別研究	1・2通	10			○		29	21	4				
	小計（1科目）		10	0	0	—	29	21	4	0	0	0	—	
合計（85科目）				10	169	0	—	30	21	6	22	0	兼29	—
学位又は称号		修士（看護学）		学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）						
		修士（医療技術学）						保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）						
		修士（リハビリテーション療法学）						保健衛生学関係（リハビリテーション関係）						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
博士前期課程に原則として2年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。  【履修方法】 （看護学コース） 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから12単位以上、特別研究10単位、合計30単位以上。 ただし、専門科目Ⅰにおいては、★6単位以上を含み、コース共通科目及び★から8単位以上、修得しなければならない。  （医療技術学コース） 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから10単位以上、特別研究10単位、合計30単位以上。 ただし、専門科目Ⅰにおいては、●6単位以上を含み、コース共通科目及び●から8単位以上、修得しなければならない。  （リハビリテーション療法学コース） 基盤科目から4単位以上、専門科目Ⅰ・Ⅱから14単位以上、特別研究10単位、合計30単位以上。 ただし、専門科目Ⅰにおいては、■4単位以上を含み、コース共通科目及び■から8単位以上、修得しなければならない。								1学年の学期区分		2学期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				

教育課程等の概要(事前伺い)														
(新設 医学系研究科総合保健学専攻 博士後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
科目盤	基盤医学実習	1・2通		2					1					
	小計(1科目)	—	0	2	0				1	0	0	0	0	—
専門科目	コース共通科目	先端生命情報学特講	1前		2		○		1	2				オムニバス
		先端生命情報学特講演習	1後		2			○	1	2				オムニバス
		先端社会健康情報学特講	1前		2			○		1	2			オムニバス
		先端社会健康情報学特講演習	1後		2				○	1	2			オムニバス
		保健医療データ活用特講	1前		2			○		2	2			オムニバス
	看護学コース	★看護システム・ケア開発学特講	1前		2		○		2	2				オムニバス
		看護システム・ケア開発学特講演習	1後		2			○	2	2		2		共同
		★高度実践看護開発学特講	1前		2			○	2	2	1	1		共同(一部)
		高度実践看護開発学特講演習	1後		2				○	2	2	1	1	共同(一部)
		★次世代育成看護学特講	1前		2			○	3	2				オムニバス 共同(一部)
		次世代育成看護学特講演習	1後		2				○	3	2			共同
	医療技術学コース	●医用画像工学特講	1前		2		○		1	2				
		医用画像工学特講演習	1後		2			○	1	2				
		●医用画像解析学特講	1前		2			○	2		2			
		医用画像解析学特講演習	1後		2				○	2		2		
		●医用量子科学特講	1前		2			○	1	2				
		医用量子科学特講演習	1後		2				○	1	2			
		●医用機能画像評価学特講	1前		2			○	2	1				
医用機能画像評価学特講演習		1後		2				○	2	1				
●生体防御情報科学特講		1前		2			○	2	1				オムニバス	
生体防御情報科学特講演習		1後		2				○	2	1			オムニバス	
●病態情報科学特講		1前		2			○	2	1				オムニバス	
病態情報科学特講演習		1後		2				○	2	1			オムニバス	
リハビリ	リハビリテーション療法学特講Ⅰ	1前		2			○	4	1					
	リハビリテーション療法学特講Ⅱ	1前		2			○	4	1	1				
	■リハビリテーション研究実践特講セミナー	1後・2前		2			○	8	2	1	5		共同・集中	
小計(32科目)		—	0	64	0			30	21	4	8	0	0	—
特別研究			4				○	29	21	4				
小計(1科目)		—	4	0	0			29	21	4	0	0	0	—
合計(34科目)		—	4	66	0			30	21	4	8	0	0	—
学位又は称号	博士(看護学)		学位又は学科の分野					保健衛生学関係(看護学関係)						
	博士(医療技術学)							保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)						
	博士(リハビリテーション療法学)							保健衛生学関係(リハビリテーション関係)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って8単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分
<p>【履修方法】</p> <p>(看護学コース)            基盤科目および専門科目から4単位以上、特別研究4単位、合計8単位以上。            ただし、専門科目の授業科目 (★印) から2単位以上、修得しなければならない。</p> <p>(医療技術学コース)            基盤科目および専門科目から4単位以上、特別研究4単位、合計8単位以上。            ただし、専門科目の授業科目 (●印) から2単位以上、修得しなければならない。</p> <p>(リハビリテーション療法学コース)            基盤科目および専門科目から4単位以上、特別研究4単位、合計8単位以上。            ただし、専門科目の授業科目 (■印) から2単位以上、修得しなければならない。</p>		

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科看護学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	生命倫理学	1前		2		○			2	1					兼1	オムニバス
	医療管理概論	1後		2		○									兼10	オムニバス
	病態生理学概論	1前		2		○			2						兼10	オムニバス
	医療技術概論	1後		2		○									兼11	オムニバス
	コンサルテーション論	1後		2		○			1	4		4			兼1	オムニバス
	基礎医科学実習Ⅰ	1～2		1				○							兼1	集中
	基礎医科学実習Ⅱ	1～2		2				○							兼1	集中
	保健医療システム概論	1前		2		○									兼5	オムニバス
	保健医療研究法概論	1前		2		○			3						兼2	オムニバス
	トータルヘルスプランナー特論	1後		2		○				4					兼9	オムニバス
	トータルヘルスプランナー実践論	2前		2		○			1	1					兼4	集中 オムニバス
	保健学セミナー	1・2通		2		○			2	1						共同
	アジアのヘルスケアシステム概論	1後		2		○						1			兼2	共同
	ヘルスケア管理論	1後2前		2		○									兼1	
	小計(14科目)	—	0	27	0	—	—	—	6	5	0	5	0	兼44		
専門科目	看護教育論	1通		2		○			1	2	1					オムニバス
	看護理論	1後		2		○			2	2						オムニバス
	看護学研究方法論	1前		2		○			3	2	1					オムニバス
	看護管理論	1前		2		○			1	1		1			兼1	オムニバス
	フィジカルアセスメント	1前		2		○			1						兼1	集中 オムニバス
	臨床薬理学	1前		2		○			1	1					兼1	オムニバス
	基礎看護学Ⅰ特論	1前		2		○				1						
	基礎看護学Ⅱ特論	1後		2		○			1							
	基礎看護学Ⅲ特論	1後		2		○			1							
	基礎看護学Ⅳ特論	1前		2		○			1							
	基礎看護学Ⅴ特論	1後		2		○				1						
	基礎看護学Ⅵ特論	1後		2		○			1							
	基礎看護学セミナー	1後		2			○		2	2						
	基礎看護学課題実習	1通		2				○	2	2						
	基礎看護学特別研究	1・2通		10			○		2	2						
	臨床看護学Ⅰ特論	1前		2		○			1			1			兼1	オムニバス
	臨床看護学Ⅱ特論	1前		2		○			1	1						オムニバス
	臨床がん看護学Ⅰ特論	1前		2		○			1	1						共同
	臨床がん看護学Ⅱ特論	1前		2		○			1	1						共同
	がん看護病態生理学	1前		2		○			1	1					兼1	オムニバス 共同(一部)
	臨床看護学セミナー	1後		2			○		2	1		1			兼1	共同(一部)
	臨床がん看護学セミナーⅠ	1後		2			○		1	1						共同
	臨床がん看護学セミナーⅡ	1後		2			○		1	1					兼1	オムニバス 共同(一部)
	臨床がん看護学セミナーⅢ	1後		4			○		1						兼4	オムニバス 共同(一部)
	臨床看護学課題実習	1～2		2				○	2	1		1				共同(一部)
	臨床がん看護学課題実習Ⅰ	1		2				○	1	1					兼1	共同
	臨床がん看護学課題実習Ⅱ	2		3				○	1	1						共同
	臨床がん看護学課題実習Ⅲ	2		4				○	1	1					兼1	共同
	臨床がん看護学課題実習Ⅳ	2		1				○	1	1						共同
	老年看護学特論	1前		2		○				1						
	老年看護学セミナー	1後		2			○			1						
	老年看護学課題実習	1～2		2				○		1						
精神看護学特論	1後		2		○				1							
精神看護学セミナー	1後		2			○			1							
精神看護学課題実習	1～2		2				○		1							
臨床看護学特別研究	1・2通		10			○		2	3		1					
発達看護学Ⅰ特論	1前		2		○			1								
発達看護学Ⅱ特論	1前		2		○				1							
発達看護学Ⅲ特論	1前		2		○				1							
発達看護学Ⅳ特論	1前		2		○			1								
発達看護学Ⅴ特論	1前		2		○				1							
発達看護学Ⅵ特論	1前		2		○			1								

専 門 科 目	小児看護学Ⅰ特論	1前	2		○		1											
	小児看護学Ⅱ特論	1後	2		○		1											
	小児看護学Ⅲ特論	1前	2		○			1										
	小児看護学Ⅳ特論	1後	2		○			1										
	発達看護学セミナー	1通	2			○	3	2										兼1
	小児看護学セミナーⅠ	1通	2			○	1											
	小児看護学セミナーⅡ	1通	2			○		1										
	発達看護学課題実習	1・2通	2				3	2										
	小児看護学課題実習Ⅰ	1後・2前	2				1											
	小児看護学課題実習Ⅱ	2通	4				1											
	地域看護学特論	1前	2		○		1	1										
	在宅看護学特論	1前	2		○		1	1										
	公衆衛生学特論	1前	2		○			1										
	地域看護学セミナー	1後	2			○	1	1										
	在宅看護学セミナー	1後	2			○	1	1										
	地域看護学課題実習	1～2	2				1	1										
	在宅看護学課題実習	1～2	2				1	1										
	発達看護学特別研究	1・2通	10			○	3	2										
	地域・在宅看護学特別研究	1・2通	10			○	2	2										
	小計 (61科目)		—	0	160	0	—	9	9	1	1	0	兼10	—				
合計 (75科目)		—	0	187	0	—	9	9	1	5	0	兼54	—					
学位又は称号		修士 (看護学)		学位又は学科の分野		保健衛生学関係 (看護学関係)												
卒業要件及び履修方法						授業期間等												
博士前期課程に原則として2年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。						1 学年の学期区分		2 期										
						1 学期の授業期間		1 5 週										
						1 時限の授業時間		9 0 分										
【履修方法】																		
①共通科目：6単位以上																		
②専門科目：指導教員が指定する特論単位、セミナー2単位、課題実習2単位及び特別研究10単位を修得しなければならない 上記の外に専門科目から8単位以上修得しなければならない 但し、6単位までは他の専攻、他の研究科の専門単位をもって充当することができる																		
※ がん看護CNSコースは、指定する科目の中から38単位の修得を必要とする																		
※ 小児看護CNSコースは、指定する科目の中から26単位の修得を必要とする																		
※ THP学内認定希望者は、指定する10単位の修得を必要とする																		

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科看護学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	基盤医科学実習	1・2通		2				○							兼1	
	小計(1科目)	—	0	2	0			—	0	0	0	0	0	0	兼1	—
専門科目	臨床アセスメント看護学特講	1前		2		○			4	3					兼1	オムニバス
	臨床アセスメント看護学特講演習	1後		2			○		4	3						
	ホリスティックがん看護学特講	1前		2		○			1	1					兼1	オムニバス
	ホリスティックがん看護学特講演習	1後		2			○		1	1						オムニバス
	基礎・臨床看護学特別研究	1・2通		4			○		4	5	1					
	小児家族発達看護学特講	1前		2		○			3	2						オムニバス
	小児家族発達看護学特講演習	1後		2			○		3	2						オムニバス
	地域健康看護学特講	1前		2		○			2	2						オムニバス
	地域健康看護学特講演習	1後		2			○		2	2						オムニバス
	健康発達看護学特別研究	1・2通		4			○		5	4						
小計(10科目)	—	0	24	0			—	9	9	1	0	0	0	兼2	—	
合計(11科目)	—	0	26	0			—	9	9	1	0	0	0	兼3	—	
学位又は称号	博士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って8単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。						1学年の学期区分			2期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							
【履修方法】 指導教員が指定する特講1科目2単位、特講演習1科目2単位、特別研究1科目4単位を含む8単位以上を修得しなければならない																
※ THP学内認定希望者は、指定する10単位の修得を必要とする																



## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科医療技術学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	生命倫理学	1前		2		○									兼4	オムニバス
	医療管理概論	1後		2		○			1	2					兼7	オムニバス
	病態生理学概論	1前		2		○			7						兼5	オムニバス
	医療技術概論	1後		2		○			6	4					兼1	オムニバス
	コンサルテーション論	1後		2		○									兼10	オムニバス
	基礎医科学実習Ⅰ	1・2通		1				○							兼1	集中
	基礎医科学実習Ⅱ	1・2通		2				○							兼1	集中
	保健医療システム概論	1前		2		○									兼5	オムニバス
	保健医療研究法概論	1前		2		○			1						兼4	オムニバス
	トータルヘルスプランナー特論	1後		2		○			2						兼11	オムニバス
	トータルヘルスプランナー実践論	2前		2		○									兼6	集中 オムニバス
	保健学セミナー	1・2通		2		○									兼3	共同
	アジアのヘルスケアシステム概論	1後		2		○									兼3	共同
	ヘルスケア管理論	1後2前		2		○									兼1	
小計(14科目)		—	0	27	0	—			13	6	0	0	0	兼41	—	
専門科目	放射線システム工学特論	1前		2		○			1	1						オムニバス
	臨床画像診断学特論	2前		2		○			2							オムニバス
	医用画像情報学特論	1前		2		○			1	1						オムニバス
	放射線生体物理学特論	2前		2		○				2						オムニバス
	放射化学・管理学特論	1前		2		○			1	1	2					オムニバス
	機能画像認知解析学特論	2前		2		○			2							オムニバス
	医用量子科学実習Ⅰ	1・2通		2				○	3	3	2					
	医用量子科学実習Ⅱ	1・2通		2				○	4	2						
	医用量子科学特別研究Ⅰ	1・2通		10				○	7	5	2				兼1	
	病因病態解析学特論	2前		2		○			1	1					兼7	オムニバス
	病態化学解析学特論	1後		2		○			1	1						オムニバス
	環境病因解析学特論	2後		2		○			2							オムニバス
	生体生理解析学特論	1前		2		○			1	1						オムニバス
	分子病態解析学特論	2前		2		○			1							オムニバス
	形態情報解析学特論	1前		2		○			1	1		1				オムニバス
	病態解析学実習Ⅰ	1・2通		2				○	4	2	1					
病態解析学実習Ⅱ	1・2通		2				○	3	2		2					
病態解析学特別研究Ⅰ	1・2通		10				○	7	4							
小計(18科目)		—	0	52	0	—			14	9	3	2	0	兼8	—	
合計(32科目)		—	0	79	0	—			14	9	3	2	0	兼48	—	
学位又は称号		修士(医療技術学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
博士前期課程に原則として2年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。								1学年の学期区分		2期						
								1学期の授業期間		15週						
								1時限の授業時間		90分						
【履修方法】																
①共通科目:6単位以上																
②専門科目:指導教員が指定する特論2単位、実習2単位及び特別研究10単位を修得しなければならない																
その他、医用量子、病態解析ともに6単位を専門科目から修得しなければならない																
上記の外に、共通科目あるいは専門科目から4単位以上修得しなければならない																
なお、この単位は他の専攻、他の研究科の専門単位をもって充当することができる																
※ 医学部物理士コースは、指定する10単位の修得を必要とする。																

教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科医療技術学専攻 博士後期課程)

Table with columns for subject classification, course name, credit, required status, and teacher configuration. Includes a summary row for 29 subjects and a section for graduation requirements and methods.

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科リハビリテーション療法学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	生命倫理学	1前		2		○									兼4	オムニバス
	医療管理概論	1後		2		○			2	1	1				兼6	オムニバス
	病態生理学概論	1前		2		○			3						兼9	オムニバス
	医療技術概論	1後		2		○									兼11	オムニバス
	コンサルテーション論	1後		2		○						1			兼9	オムニバス
	基礎医科学実習Ⅰ	1・2通		1				○	1							集中
	基礎医科学実習Ⅱ	1・2通		2				○	1							集中
	保健医療システム概論	1前		2		○			2	2					兼1	オムニバス
	保健医療研究法概論	1前		2		○									兼5	オムニバス
	トータルヘルスプランナー特論	1後		2		○			5			2			兼6	オムニバス
	トータルヘルスプランナー実践論	2前		2		○						1			兼5	集中 オムニバス
	保健学セミナー	1・2通		2		○									兼3	共同
	アジアのヘルスケアシステム概論	1後		2		○									兼3	共同
	ヘルスケア管理論	1後2前		2		○									兼1	
小計(14科目)		—	0	27	0	—	—	—	7	3	1	2	0	兼47	—	
専門科目	リハビリテーション療法学特論Ⅰ-1	1前		1		○			1						兼4	オムニバス
	リハビリテーション療法学特論Ⅰ-2	1前		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅰ-3	1前		1		○					1					
	リハビリテーション療法学特論Ⅰ-4	1後		1		○				1						
	リハビリテーション療法学特論Ⅰ-5	1後		1		○				1						
	リハビリテーション療法学特論Ⅱ-1	1前		1		○				1						
	リハビリテーション療法学特論Ⅱ-2	1前		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅱ-3	1前		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅱ-4	1後		1		○					1					
	リハビリテーション療法学特論Ⅱ-5	1後		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅲ-1	1前		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅲ-2	1前		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅲ-3	1前		1		○				1						
	リハビリテーション療法学特論Ⅲ-4	1後		1		○			1							
	リハビリテーション療法学特論Ⅲ-5	1後		1		○				1						
	リハビリテーション研究実践セミナー	1後		2				○	8	3	1	5				共同
	リハビリテーション臨床実践実習Ⅰ	2通		2				○	3						兼4	
	リハビリテーション臨床実践実習Ⅱ	2通		2				○	3							
	理学療法学セミナーⅠ	1通		2				○	4	2						
	理学療法学セミナーⅡ	2通		2				○	4	2						
	理学療法学特別研究	1・2通		10				○	4	2						
	作業療法学セミナーⅠ	1通		2				○	4	1	1					
	作業療法学セミナーⅡ	2通		2				○	4	1	1					
	作業療法学特別研究	1・2通		10				○	4	1	1					
小計(24科目)		—	0	49	0	—	—	—	8	3	1	5	0	兼8	—	
合計(38科目)		—	0	76	0	—	—	—	8	3	1	5	0	兼55	—	
学位又は称号		修士(リハビリテーション療法学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
博士前期課程に原則として2年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。								1学年の学期区分		2期						
								1学期の授業期間		15週						
								1時限の授業時間		90分						
【履修方法】																
①共通科目:6単位以上																
②専門科目:指導教員が指定する特論4単位、セミナー4単位、リハビリテーション研究実践セミナー2単位及び特別研究10単位を修得																
しなければならない																
上記の外に、共通科目あるいは専門科目から4単位以上修得しなければならない																
なお、この4単位は他の専攻、他の研究科の専門単位をもって充当することができる																
※ THP学内認定希望者は、指定する10単位の修得を必要とする																

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設 医学系研究科リハビリテーション療法学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	基盤医科学実習	1・2通		2				○	1						
	小計(1科目)	—	0	2	0			—	1	0	0	0	0		—
専門科目	骨・関節機能障害学特講	1前		2			○		1						
	骨・関節機能障害学特講演習	1後		2				○	1						
	循環器機能障害療法学特講	1前		2			○		1						
	循環器機能障害療法学特講演習	1後		2				○	1						
	細胞組織形態学特講	1前		2			○		1						
	細胞組織形態学特講演習	1後		2				○	1						
	知能健康科学特講	1前		2			○			1					
	知能健康科学特講演習	1後		2				○		1					
	症候障害学特講	1前		2			○		1						
	症候障害学特講演習	1後		2				○	1						
	神経運動機能分子科学特講	1前		2			○			1					
	神経運動機能分子科学特講演習	1後		2				○		1					
	リハビリテーション神経科学特講	1前		2			○			1					
	リハビリテーション神経科学特講演習	1後		2				○		1					
	生活支援技術学特講	1前		2			○		1						
	生活支援技術学特講演習	1後		2				○	1						
	高次脳機能障害学特講	1前		2			○		1						
	高次脳機能障害学特講演習	1後		2				○	1						
	精神障害病態解析学特講	1前		2			○		1						
	精神障害病態解析学特講演習	1後		2				○	1						
	精神障害作業療法特講	1前		2			○				1				
	精神障害作業療法特講演習	1後		2				○			1				
	精神認知機能作業療法特講	1前		2			○			1					
	精神認知機能作業療法特講演習	1後		2				○		1					
	発達過程作業療法学特講	1前		2			○		1						
	発達過程作業療法学特講演習	1後		2				○	1						
	作業行動調整学特講	1前		2			○			1					
	作業行動調整学特講演習	1後		2				○		1					
	生活機能発展学特講	1前		2			○				1				
	生活機能発展学特講演習	1後		2				○			1				
	リハビリテーション療法学特別研究	1・2通		4				○		8	3	1			
小計(31科目)	—		0	64	0		—		8	3	1	0	0		—
合計(32科目)	—		0	66	0		—		8	3	1	0	0		—
学位又は称号	博士(リハビリテーション療法学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修方法に従って8単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。 <b>【履修方法】</b> 指導教員が指定する特講1科目2単位、特講演習1科目2単位、特別研究1科目4単位を含む8単位以上を修得しなければならない ※ THP学内認定希望者は、指定する10単位の修得を必要とする								1学年の学期区分		2期					
								1学期の授業期間		15週					
								1時限の授業時間		90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 医学部保健学科看護学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 教育 科目	基礎セミナーA	1前	2					○								
	小計 (1科目)		2	0	0			—		2	4	0	0	0		0
	言語文化															
	英語 (基礎)	1前		1				○								兼21
	英語 (中級)	1後		1				○								兼11
	英語 (コミュニケーション)	2前		2				○								兼19
	ドイツ語 1	1前		1.5				○								兼14
	ドイツ語 2	1前		1.5				○								兼14
	ドイツ語 3	1後		1.5				○								兼14
	ドイツ語 4	1後		1.5				○								兼13
	フランス語 1	1前		1.5				○								兼5
	フランス語 2	1前		1.5				○								兼5
	フランス語 3	1後		1.5				○								兼5
	フランス語 4	1後		1.5				○								兼4
	ロシア語 1	1前		1.5				○								兼2
	ロシア語 2	1前		1.5				○								兼2
	ロシア語 3	1後		1.5				○								兼2
	ロシア語 4	1後		1.5				○								兼1
	中国語 1	1前		1.5				○								兼10
	中国語 2	1前		1.5				○								兼10
	中国語 3	1後		1.5				○								兼10
	中国語 4	1後		1.5				○								兼9
	スペイン語 1	1前		1.5				○								兼3
	スペイン語 2	1前		1.5				○								兼3
	スペイン語 3	1後		1.5				○								兼3
	スペイン語 4	1後		1.5				○								兼2
	朝鮮・韓国語 1	1前		1.5				○								兼2
	朝鮮・韓国語 2	1前		1.5				○								兼2
	朝鮮・韓国語 3	1後		1.5				○								兼2
	朝鮮・韓国語 4	1後		1.5				○								兼1
	日本語 (口頭表現) 1	1前		1.5				○								兼2
日本語 (口頭表現) 2	1前		1.5				○								兼1	
日本語 (文章表現) 1	1後		1.5				○								兼2	
日本語 (文章表現) 2	1後		1.5				○								兼1	
小計 (31科目)			0	46	0			—		0	0	0	0	0		兼195
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2			○									兼8
	健康・スポーツ科学実習 I	1前		1					○							兼8
	健康・スポーツ科学実習 II	1後		1					○							兼7
	小計 (3科目)		0	4	0			—		0	0	0	0	0		兼23

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
文系基礎科目	哲学	1前		2		○									兼1
	歴史学	1後		2		○									兼2
	文学	1後		2		○									兼1
	地理学	1前		2		○									兼1
	心理学Ⅰ	1前		2		○									兼1
	心理学Ⅱ	1前		2		○									兼1
	日本国憲法	1後		2		○									兼2
	法学	1前		2		○									兼1
	経済学A	1前		2		○									兼1
	経済学B	1後		2		○									兼1
	国際関係論	1後		2		○									兼1
	国際開発学	1前		2		○									兼1
	比較文化論	1後		2		○									兼1
	統計学	1後		2		○									兼1
	小計 (14科目)			0	28	0	—			0	0	0	0	0	兼16
理系基礎科目	数学通論Ⅰ	1前		2		○									兼4
	数学通論Ⅱ	1後		2		○									兼4
	物理学基礎Ⅰ	1前		2		○									兼3
	物理学基礎Ⅱ	1後		2		○									兼1
	化学基礎Ⅰ	1前		2		○									兼3
	化学基礎Ⅱ	1後		2		○									兼1
	生物学基礎Ⅰ	1前		2		○									兼2
	生物学基礎Ⅱ	1後		2		○									兼2
	生物学実験	1後		1.5				○							兼1
小計 (9科目)			0	17.5	0	—			0	0	0	0	0	兼21	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2		○									兼1
	科学・技術の哲学	2後		2		○									兼1
	ことばの不思議	2前		2		○									兼1
	文化を読む	1後		2		○									兼1
	表象と文化	2前		2		○									兼1
	芸術と人間	2前・後		2		○									兼2
	人間と行動	1後		2		○									兼1
	現代社会と教育	2前・後		2		○									兼2
	教育と発達の心理	1後		2		○									兼1
	現代社会と法	2前・後		2		○									兼2
	民主主義の歴史と現在	1後		2		○									兼1
	市場経済と社会	2前		2		○									兼1
	産業社会と企業	1後		2		○									兼1
	開発の光と影	1後		2		○									兼1
	社会と環境	2前		2		○									兼1
	グローバル化時代の国際社会	2後		2		○									兼1
	グローバル化と国際教育交流	1後		2		○									兼1
小計 (17科目)			0	34	0	—			0	0	0	0	0	兼20	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後		2		○									兼1
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2		○									兼1
	システム工学入門	1後		2		○									兼1
	情報リテラシー（理系）	1前・後		2		○									兼4
	情報科学入門	1前		2		○									兼1
	物理現象の科学	1前		2		○									兼1
	原子・分子の科学	2後		2		○									兼1
	物質世界の認識	1後		2		○									兼1
	物質と科学	1後		2		○									兼2
	現代の生命科学	2後		2		○									兼1
	現代医療と生命科学	1前		2		○									兼1
	生涯健康と医学	2後		2		○									兼1
	遺伝子の世界	1後		2		○									兼1
	食と農の科学	1前		2		○									兼1
	動植物の科学	1後		2		○									兼2
	地球惑星の科学	1前		2		○									兼1
	自然環境と人間	1後		2		○									兼1
	自然環境と人間社会	1前		2		○									兼1
	環境問題と人間	1後		2		○									兼1
	都市と環境	1後		2		○									兼1
	大気水圏環境の科学	1前		2		○									兼1
	宇宙科学	1前		2		○									兼1
	博物館概論	1前		2		○									兼1
小計（23科目）			0	46	0	—			0	0	0	0	0	兼28	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2		○									兼2
	芸術と人間精神	2前・後		2		○									兼2
	表象芸術論	2前・後		2		○									兼2
	音楽芸術論	2前・後		2		○									兼2
	科学・技術の倫理	2前		2		○									兼1
	科学技術史	2後		2		○									兼1
	科学技術社会論	2前・後		2		○									兼2
	科学技術とジェンダー	2後		2		○									兼1
	宗教と人類文化	2前・後		2		○									兼2
	異文化論	2後		2		○									兼1
	留学生と日本	2後		2		○									兼2
	名大の歴史をたどる	1前		2		○									兼1
	キャリア形成論	2前・後		2		○									兼2
	大学でどう学ぶか	1前		2		○									兼2
	学問の面白さを知る	1前		2		○									兼1
	切迫する自然災害に備える	2前		2		○									兼1
	アーカイブズ学入門－文書史料の世界をあるく－	2後		2		○									兼1
	ジェンダーの視点から考える21世紀の日本社会	2前		2		○									兼1
ピア・カウンセリング	2前		2		○									兼1	
小計（19科目）			0	38	0	—			0	0	0	0	0	兼28	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造機能学ⅠA	1前	1			○									兼1
	人体構造機能学ⅡA	1前	1			○			1						
	人体構造機能学ⅢA	1後	1			○			1						
	人体構造機能学ⅣA(生化学)	1前	1			○									兼1
	生活環境論B	2前		1		○				1					
	公衆衛生学	2前	2			○									兼1
	臨床心理学	2後	1			○				1					兼2
	バイオエシックス論	2前	1			○			2	1					
	社会福祉学B	1前	2			○			1	3					兼4
	放射線医学	2後	1			○			1						兼4
	病態生理学Ⅰ(治療論を含む)	1後	1			○			1						
	病態生理学Ⅱ(治療論を含む)	2前	1			○			1						
	病態生理学Ⅲ(治療論を含む)	2前	1			○			2						
	病態生理学Ⅳ(栄養治療論を含む)	1後	1			○									兼1
	病原微生物学B	1前	1			○									兼1
	保健薬理学	2後	1			○			2	1					兼1
情報科学及び演習	2前		1		○									兼1	
保健看護行政論(保健統計を含む)	3前	2			○				1					※演習	
原書講読	3前	1			○			9	9	1	12				
国際医療協力論	4後		1		○			1						兼2	
小計(20科目)	—	—	20	3	0	—	—	—	9	9	1	12	0	兼19	
専門科目	看護学概論	1前	1			○			1			2			
	看護総論	4後	1			○			1						
	看護援助論	1後	1			○				2		3			※演習
	看護基礎技術論	2前	1			○				2		3			※演習
	看護基礎技術論演習	2前	2			○		○		2		3			
	コミュニケーション技術論及び演習	1後	1			○			1						※演習
	フィジカルアセスメント演習	2後	1			○		○		2		3			
	看護過程論	2後	1			○			1						
	看護過程演習	3前	1			○		○	1			3			
	成人看護学総論	2前	2			○			2	1	1	1			
	慢性期成人看護学Ⅰ	2後	1			○			1	1					
	慢性期成人看護学Ⅱ	2後	1			○			1	1		1			兼1
	成人・老年看護学演習	3前	1			○		○	2	2	1	2			兼1
	急性期成人看護学Ⅰ	2後	1			○			1		1				
	急性期成人看護学Ⅱ	3前	2			○					1				
	老年看護学概論	2前	1			○				1					
	臨床老年看護学	2後	2			○				1		1			兼1
	精神看護学Ⅰ	3前	2			○				1		1			
	精神看護学Ⅱ	3前	2			○				1		1			兼1
	母性看護学	2後	2			○			1	2					
	母性看護学演習	2後	1			○		○	1	2		2			
	小児看護学	2後	2			○			1						
	小児看護学演習	3前	1			○		○	1						兼1
	家族看護学	3前	2			○			1	2	1				
	地域在宅看護学	2後	2			○				1		1			
	在宅老年看護学	3前	1			○				1		1			
	公衆衛生看護学	2後	2			○			1	1					兼4
公衆衛生看護活動論Ⅰ	3前		2		○			1							
公衆衛生看護活動論Ⅱ	3前		2		○			1						兼1	
看護基礎実践	1前	1			○			2	2		3				
基礎看護学実習	2後	2					○	1	2		3				
看護過程展開実習	3後	2					○	1			12				
慢性期看護学実習	3後～4前	3					○	1	1		1				
急性期看護学実習	3後～4前	3					○	1		1					
精神看護学実習	3後～4前	2					○		1		1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	老年看護学実習	3後～4前	1					○		1			1		
	母性看護学実習	3後～4前	2					○		1	2		2		
	小児看護学実習	3後～4前	2					○		1					
	地域在宅看護学実習	3後～4前	2					○					1		
	公衆衛生看護学実習	3後～4前		4				○		1	1				
	地域看護基礎実習	3後～4前	1					○		1					
	看護統合実習	4前・後	2					○		9	9	1	12		
	看護研究序論	3前	1			○				9	9	1	12		
	看護研究演習(卒論)	3後・4通	3					○		9	9	1	12		
	看護情報学	2後	1			○				1					
	医療看護管理学	4後	1			○				1	1		1		
	看護教育概説	4後	1			○				1					
	スキンケア・創傷管理論	4後	1			○					1				
	がん看護論	4後		1		○				1	1		1		兼2
	臨床看護実践論	4後		1		○				1	2	1			
	ヘルスプロモーション概論	4後		1		○				2					
	次世代育成看護論	4後		1		○				2	2		3		
	小計(52科目)	—	69	12	0			—		9	9	1	12	0	兼12
合計(189科目)			—	91	228.5	0		—		9	9	1	12	0	兼362
学位又は称号		学士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
全学教育科目は33単位以上、専門基礎科目は必修科目20単位以上、専門科目は必修科目69単位以上、専門科目と専門基礎科目を合わせて合計91単位以上を修得すること。卒業要件は合計124単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。 ※全学教育科目 全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位、言語文化から英語4単位、その他外国語6単位、健康・スポーツ科学講義及び実習各2単位を含むこと)、理系基礎科目から9単位以上(数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験から9単位以上を含むこと)、文系基礎科目、文系教養科目及び理系教養科目のうちから6単位以上、文系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目及び開放科目から8単位以上。ただし、全学教養科目及び開放科目で必要単位に含めることができるのは2単位まで。								1 学年の学期区分			2 学期				
								1 学期の授業期間			1 5 週				
								1 時限の授業時間			9 0 分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要														
(既設 医学部保健学科放射線技術科学専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 教育科目	基礎セミナーA	1前	2					○		2	2			
	小計 (1科目)		2	0	0			—		2	2	0	0	0
	言語文化													
	英語 (基礎)	1前		1				○						兼21
	英語 (中級)	1後		1				○						兼11
	英語 (コミュニケーション)	2前		2				○						兼19
	ドイツ語 1	1前		1.5				○						兼14
	ドイツ語 2	1前		1.5				○						兼14
	ドイツ語 3	1後		1.5				○						兼14
	ドイツ語 4	1後		1.5				○						兼13
	フランス語 1	1前		1.5				○						兼5
	フランス語 2	1前		1.5				○						兼5
	フランス語 3	1後		1.5				○						兼5
	フランス語 4	1後		1.5				○						兼4
	ロシア語 1	1前		1.5				○						兼2
	ロシア語 2	1前		1.5				○						兼2
	ロシア語 3	1後		1.5				○						兼2
	ロシア語 4	1後		1.5				○						兼1
	中国語 1	1前		1.5				○						兼10
	中国語 2	1前		1.5				○						兼10
	中国語 3	1後		1.5				○						兼10
	中国語 4	1後		1.5				○						兼9
	スペイン語 1	1前		1.5				○						兼3
	スペイン語 2	1前		1.5				○						兼3
	スペイン語 3	1後		1.5				○						兼3
	スペイン語 4	1後		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 1	1前		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 2	1前		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 3	1後		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 4	1後		1.5				○						兼1
	日本語 (口頭表現) 1	1前		1.5				○						兼2
	日本語 (口頭表現) 2	1前		1.5				○						兼1
	日本語 (文章表現) 1	1後		1.5				○						兼2
日本語 (文章表現) 2	1後		1.5				○						兼1	
小計 (31科目)			0	46	0			—		0	0	0	0	0
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2			○							兼8
	健康・スポーツ科学実習 I	1前		1					○					兼8
	健康・スポーツ科学実習 II	1後		1					○					兼7
	小計 (3科目)		0	4	0			—		0	0	0	0	0
文系 基礎 科目	哲学	1前		2			○							兼1
	歴史学	1後		2			○							兼2
	文学	1後		2			○							兼1
	地理学	1前		2			○							兼1
	心理学 I	1前		2			○							兼1
	心理学 II	1前		2			○							兼1
	日本国憲法	1後		2			○							兼2
	法学	1前		2			○							兼1
	経済学 A	1前		2			○							兼1
	経済学 B	1後		2			○							兼1
	国際関係論	1後		2			○							兼1
	国際開発学	1前		2			○							兼1
	比較文化論	1後		2			○							兼1
	統計学	1後		2			○							兼1
小計 (14科目)		0	28	0			—		0	0	0	0	0	





専門科目	放射線画像形成学	2前	2		○			1								
	放射線医学	3前	1		○			1								
	生体画像解析学及び演習 I	2後	1		○			1			1				※演習	
	生体画像解析学及び演習 II	3前	1		○			1							※演習	
	医用機器工学 I	2後	2		○				1							
	医用機器工学 I 演習	3後	1			○			1						兼1	
	医用機器工学実験	3通	2				○		1	1	1					
	放射線計測学 I	3前	1		○				1							
	造影画像技術学	3前	1		○				1							
	画像診断技術学及び演習 I	3前	1		○				1						※演習	
	画像診断技術学及び演習 II	3後	1		○				1						※演習	
	超音波技術学	3後	1		○				1							
	磁気共鳴技術学	3前	1		○				1							
	III類 医用材料工学	3後	1		○					1						
	I V R 技術学	3後	1		○				1							
	核医学診断技術学 I	3前	1		○				1						兼1	
	核医学診断技術学 II	3後	1		○				1						兼1	
	核医学診断技術学 III	3後	1		○				1						兼1	
	医用機器工学 II	3前	1		○				1						兼1	
	放射線計測学 II	3前	1		○				1		1					
IV類 放射線医薬品学	4前	1		○				1						兼2		
核医学画像処理論	4前	1		○				1								
放射線治療技術学 I	3後	2		○					1					兼2		
放射線治療技術学 II	3後	1		○					1					兼2		
医用機器工学 III	3前	1		○					1							
放射線計測学 III	3前	1		○					1							
放射線計測学 III 実験	4前	1					○		1	1						
V類 放射線治療精度管理学	4前	1		○					1							
放射線治療計画システム学	4前	1		○					1							
医療情報学	3後	1		○				1								
医用画像工学	2前	2		○					1							
医用画像工学演習	2後	1				○			1							
医用画像工学実験	3前	1					○		1	1	1					
VI類 医用情報システム工学	3前	1		○					1							
医用画像処理工学 I	3後	1		○					1							
医用画像処理工学 II	3後	1		○					1							
放射線管理学	2後	2		○				1								
放射線計測学 II 及び管理学実験	3後	1		○				1			1			※実験		
保健行政論演習	3前	1					○			1						
VII類 放射線管理学演習	3後	1					○				2					
放射線衛生学	2前	1		○					1							
医療安全管理学 I	3後	1		○				4	2							
医療安全管理学 II	3後	1		○					1					兼8		
放射線画像診断技術学実習 A	4通	2							1							
放射線画像診断技術学実習 B	4通	2							1							
放射線画像診断技術学実習 C	4通	2							1							
核医学診断技術学実習 A	4通	2							1							
核医学診断技術学実習 B	4通	1							1	1				兼2		
放射線治療技術学実習 A	4通	2								1						
放射線治療技術学実習 B	4通	1								1						
卒業研究	4後	3				○		6	4	2	2					
放射線技術科学基礎セミナー	3後	1				○		6	4	2						
小計 (52科目)	—	54	11	0	—			6	4	2	2	0	兼21			
合計 (198科目)	—	84	234.5	0	—			6	4	2	2	0	兼381			

学位又は称号	学士（保健学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全学教育科目は33単位以上、専門基礎科目は必修科目28単位及び選択科目4単位以上を含む合計32単位以上、専門科目は必修科目54単位及び選択科目6単位以上を含む合計60単位以上を修得すること。卒業要件は合計125単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	1 5 週
		1 時限の授業時間	9 0 分
<p>※全学教育科目 全学基礎科目から16単位以上（基礎セミナー2単位、言語文化から英語4単位、その他外国語6単位、健康・スポーツ科学講義及び実習各2単位を含むこと）、理系基礎科目から9単位以上（数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験から9単位以上を含むこと）、文系基礎科目、文系教養科目及び理系教養科目のうちから6単位以上、文系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目及び開放科目から8単位以上。ただし、全学教養科目及び開放科目で必要単位に含めることができるのは2単位まで。</p> <p>※専門基礎科目の選択科目においては、Ⅰ類の授業科目から3単位以上、Ⅱ類の授業科目から1単位以上を修得しなければならない。</p> <p>※専門科目の選択科目においては、Ⅲ類の授業科目から1単位以上、Ⅳ類の授業科目から1単位以上、Ⅴ類の授業科目から1単位以上、Ⅵ類の授業科目から2単位以上、Ⅶ類の授業科目から1単位以上を修得しなければならない。</p>			

（注）

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

教育課程等の概要															
（既設 医学部保健学科検査技術科学専攻）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	基礎セミナー	1前	2					○			2	1			
	小計（1科目）		2	0	0			—			2	1	0	0	0
	言語文化														
	英語（基礎）	1前		1				○							兼21
	英語（中級）	1後		1				○							兼11
	英語（コミュニケーション）	2前		2				○							兼19
	ドイツ語1	1前		1.5				○							兼14
	ドイツ語2	1前		1.5				○							兼14
	ドイツ語3	1後		1.5				○							兼14
	ドイツ語4	1後		1.5				○							兼13
	フランス語1	1前		1.5				○							兼5
	フランス語2	1前		1.5				○							兼5
	フランス語3	1後		1.5				○							兼5
	フランス語4	1後		1.5				○							兼4
	ロシア語1	1前		1.5				○							兼2
	ロシア語2	1前		1.5				○							兼2
	ロシア語3	1後		1.5				○							兼2
	ロシア語4	1後		1.5				○							兼1
	中国語1	1前		1.5				○							兼10
	中国語2	1前		1.5				○							兼10
	中国語3	1後		1.5				○							兼10
	中国語4	1後		1.5				○							兼9
	スペイン語1	1前		1.5				○							兼3
	スペイン語2	1前		1.5				○							兼3
	スペイン語3	1後		1.5				○							兼3
	スペイン語4	1後		1.5				○							兼2
	朝鮮・韓国語1	1前		1.5				○							兼2
	朝鮮・韓国語2	1前		1.5				○							兼2
	朝鮮・韓国語3	1後		1.5				○							兼2
	朝鮮・韓国語4	1後		1.5				○							兼1
	日本語（口頭表現）1	1前		1.5				○							兼2
	日本語（口頭表現）2	1前		1.5				○							兼1
	日本語（文章表現）1	1後		1.5				○							兼2
日本語（文章表現）2	1後		1.5				○							兼1	
小計（31科目）			0	46	0			—			0	0	0	0	0
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2			○								兼8
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1					○						兼8
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1					○						兼7
	小計（3科目）		0	4	0			—			0	0	0	0	0







専門基礎科目	人体構造機能学ⅠB	1前	2			○			1	1							
	人体構造機能学ⅡB	1後	2			○			1			1					
	人体構造機能学ⅢB	2前	1			○				1							
	人体構造機能学ⅣB	2前		1		○				1							
	人体構造学実習	1後	1				○		1	1			1				
	人体機能学実習	2前	1				○		1	1			1				
	保健生化学B	1前	2			○			2								
	臨床心理学	2後		1		○											兼3
	バイオエシックス論	3前		1		○											兼3
	社会福祉学A	1前		1		○											兼1
	保健医療概論	1前		1		○			1								
	一般臨床看護論	3前		1		○											兼6
	病原微生物学Ⅰ	2前	1			○					1						
	病原微生物学Ⅱ	2前	1			○					1						
	保健薬理学	3前	1			○			1								
	医用情報科学B	1前	2			○											兼1
	医用工学及び実習	2前・後	2			○								1			兼2 ※実習
	医用機器学	2前	1			○			2	1	1	1	1				兼1
	生体情報解析学	4前		2		○			1	1			1				兼1
	生体情報解析学実習	4前		1			○		1				1				兼1
	保健行政論	4後	1			○			1								
	検査管理総論Ⅰ	1前	1			○			1								
	検査管理総論Ⅱ	4前	1			○			1								
	国際医療協力論	4後		1		○											兼3
	医療英語ⅠB	3前		2		○			7	4							
	医療英語ⅡB	3後		2		○			7	4							
小計 (26科目)	—	20	14	0	—	—	—	7	4	1	3	0	兼19				
専門科目	一般検査学Ⅰ	2前	2			○			1	1							兼1
	一般検査学Ⅱ・医療安全管理学	2後	2			○		1	1								
	一般検査学実習A	2後	1				○	2	1	1	1	1					
	一般検査学実習B	3後	1				○	1	1								
	病理学	2前	1			○		1	1								
	病理組織細胞検査学Ⅰ	2後	2			○		1	1			1					
	病理組織細胞検査学Ⅱ	2後		1		○		1	1			1					兼1
	病理組織細胞検査学実習A	3前	1				○	1	1			1					兼1
	病理組織細胞検査学実習B	3後	1				○	1	1			1					
	臨床生理検査学Ⅰ	2前	2			○		1				1					
	臨床生理検査学Ⅱ	2後	2			○		1				1					
	臨床生理検査学Ⅲ	3前	2			○				1							兼1
	臨床生理検査学Ⅳ	3後		2		○				1							兼3
	臨床生理検査学実習A	3後	1				○	1	1			1					
	臨床生理検査学実習B	3後	1				○	1	1			1					
	臨床生理検査学実習C	3後	1				○	1	1			1					
	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			○		1	1								
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			○		1	1								
	臨床化学検査学実習A	3前	1				○	1	1	1							
	臨床化学検査学実習B	3後	1				○	1	1	1							
	血液検査学Ⅰ	2前	2			○		1					1				
	血液検査学Ⅱ	2後	2			○		1					1				
	血液検査学実習A	3前	1				○	1					1				
	血液検査学実習B	3後	1				○	1					1				
	病原微生物検査学Ⅰ	2後	2			○					1						
	病原微生物検査学Ⅱ	3前		1		○					1						兼1
	病原微生物検査学実習A	3前	1				○			1	1						
	病原微生物検査学実習B	3後	1				○			1	1						
	免疫学	2前	1			○			1			1					
	免疫検査学Ⅰ	2前	1			○			1			1					
免疫検査学Ⅱ	2後	2			○			1			1					兼1	
免疫検査学実習A	3前	1				○		1			1						
免疫検査学実習B	3後	1				○		1			1						
医動物検査学及び実習	3前	1			○							1				兼1 ※実習	

公衆衛生学	2前	2			○		1								
公衆衛生学実習	2後	1				○	1		1						
動物学	3前	1			○				1				兼1		
臨床病理学Ⅰ	3後	2			○		1								
臨床病理学Ⅱ	3後	1			○		1	1							
臨床病理学演習	4後	2				○	1								
形態検査技術開発法Ⅰ	3前	1			○		1	1			1			※演習	
形態検査技術開発法Ⅱ	3後	1			○		1				1			※演習	
生理検査技術開発法	3後	1			○		1	1			1			※演習	
分析検査技術開発法	3後	1			○		1	1	1					※演習	
病因検査技術開発法Ⅰ	3前	1			○				1	1				※演習	
病因検査技術開発法Ⅱ	3前	1			○		1			1				※演習	
遺伝子検査学	3前	2			○		2	1			1				
遺伝子検査学実習	3前		1			○	1				1				
分子病態学	4前	1			○		2						兼2		
検査技術科学特論Ⅰ（形態系）	4後		2		○		2	1			1		兼1	※演習	
検査技術科学特論Ⅱ（生理系）	4後		2		○		2	1						※演習	
検査技術科学特論Ⅲ（分析系）	4後		2		○		2	1	1					※演習	
検査技術科学特論Ⅳ（病因系）	4後		2		○		1	1					兼1	※演習	
検査技術科学研究法Ⅰ	4前・後	1			○		7	4	2	3				※演習	
卒業研究	4前・後	4				○	7	4	2	3					
健康食品管理総論	4前		2		○		3	1	1						
小計（56科目）	—	66	15	0	—	—	7	4	2	3	0	兼13			
合計（199科目）	—	88	242.5	0	—	—	7	4	2	3	0	兼360			
学位又は称号	学士（保健学）		学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
全学教育科目は33単位以上、専門基礎科目は必修科目20単位以上、専門科目は必修科目67単位以上、専門科目と専門基礎科目を合わせて合計91単位以上を修得すること。卒業要件は合計124単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。 ※全学教育科目 全学基礎科目から16単位以上（基礎セミナー2単位、言語文化から英語4単位、その他外国語6単位、健康・スポーツ科学講義及び実習各2単位を含むこと）、理系基礎科目から9単位以上（数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験から9単位以上を含むこと）、文系基礎科目、文系教養科目及び理系教養科目のうちから6単位以上、文系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目及び開放科目から8単位以上。ただし、全学教養科目及び開放科目で必要単位に含めることができるのは2単位まで。						1学年の学期区分					2学期				
						1学期の授業期間					15週				
						1時限の授業時間					90分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教 育 課 程 等 の 概 要														
(既設 医学部保健学科理学療法専攻)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 教育科目	基礎セミナーA	1前	2					○		1	1			
	小計 (1科目)		2	0	0			—		1	1	0	0	0
	言語文化													
	英語 (基礎)	1前		1				○						兼21
	英語 (中級)	1後		1				○						兼11
	英語 (コミュニケーション)	2前		2				○						兼19
	ドイツ語 1	1前		1.5				○						兼14
	ドイツ語 2	1前		1.5				○						兼14
	ドイツ語 3	1後		1.5				○						兼14
	ドイツ語 4	1後		1.5				○						兼13
	フランス語 1	1前		1.5				○						兼5
	フランス語 2	1前		1.5				○						兼5
	フランス語 3	1後		1.5				○						兼5
	フランス語 4	1後		1.5				○						兼4
	ロシア語 1	1前		1.5				○						兼2
	ロシア語 2	1前		1.5				○						兼2
	ロシア語 3	1後		1.5				○						兼2
	ロシア語 4	1後		1.5				○						兼1
	中国語 1	1前		1.5				○						兼10
	中国語 2	1前		1.5				○						兼10
	中国語 3	1後		1.5				○						兼10
	中国語 4	1後		1.5				○						兼9
	スペイン語 1	1前		1.5				○						兼3
	スペイン語 2	1前		1.5				○						兼3
	スペイン語 3	1後		1.5				○						兼3
	スペイン語 4	1後		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 1	1前		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 2	1前		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 3	1後		1.5				○						兼2
	朝鮮・韓国語 4	1後		1.5				○						兼1
	日本語 (口頭表現) 1	1前		1.5				○						兼2
	日本語 (口頭表現) 2	1前		1.5				○						兼1
	日本語 (文章表現) 1	1後		1.5				○						兼2
日本語 (文章表現) 2	1後		1.5				○						兼1	
小計 (31科目)			0	46	0			—		0	0	0	0	0
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2			○							兼8
	健康・スポーツ科学実習 I	1前		1					○					兼8
	健康・スポーツ科学実習 II	1後		1					○					兼7
	小計 (3科目)		0	4	0			—		0	0	0	0	0
文系 基礎科目	哲学	1前		2			○							兼1
	歴史学	1後		2			○							兼2
	文学	1後		2			○							兼1
	地理学	1前		2			○							兼1
	心理学 I	1前		2			○							兼1
	心理学 II	1前		2			○							兼1
	日本国憲法	1後		2			○							兼2
	法学	1前		2			○							兼1
	経済学 A	1前		2			○							兼1
	経済学 B	1後		2			○							兼1
	国際関係論	1後		2			○							兼1
	国際開発学	1前		2			○							兼1
	比較文化論	1後		2			○							兼1



	科学技術とジェンダー	2後		2		○								兼1	
	宗教と人類文化	2前・後		2		○								兼2	
	異文化論	2後		2		○								兼1	
	留学生と日本	2後		2		○								兼2	
	名大の歴史をたどる	1前		2		○								兼1	
	キャリア形成論	2前・後		2		○								兼2	
	大学でどう学ぶか	1前		2		○								兼2	
	学問の面白さを知る	1前		2		○								兼1	
	切迫する自然災害に備える	2前		2		○								兼1	
	アーカイブズ学入門－文書史料の世界をあるく－	2後		2		○								兼1	
	ジェンダーの視点から考える21世紀の日本社会	2前		2		○								兼1	
	ピア・カウンセリング	2前		2		○								兼1	
	小計 (19科目)		0	38	0	—		0	0	0	0	0	0	兼28	
専門 基礎 科目	人体構造機能学ⅠA	1前	1			○		1			1			兼1	※演習
	人体構造機能学ⅡA	2前	1			○									
	人体構造機能学ⅢA	1後	1			○		1							※実習
	人体構造機能学ⅠA実習	1前	1			○		1			1				※実習
	人体構造機能学ⅡA実習	2前	1				○							兼1	
	人体構造機能学ⅢA実習	1後	1				○	2	1		1			兼2	
	保健生化学A	1前		1		○								兼1	
	PT及びOTのための人間発達学	2前	1			○								兼1	
	公衆衛生学	2前		2		○								兼1	
	臨床心理学	2後	1			○								兼3	
	社会福祉学A	3前		1		○								兼1	
	バイオエシックス論	2前		1		○								兼3	
	保健医療概論	1前	1			○		1						兼1	
	リハビリテーション概論	1前	1			○		1						兼2	
	リハビリテーション医学	3前	1			○		1						兼1	
	救急医療学	3前	1			○		1			1			兼3	
	保健病理学B	2前	1			○								兼2	
	神経解剖学	2前	1			○				1				兼1	
	病態人体構造学実習	2前		1			○	1	1						
	病態人体機能学	2前	1			○								兼1	
	病態人体機能学実習	2前	1				○							兼1	
	生体防御学	2前		1		○								兼2	
	保健薬理学	2前		1		○								兼2	
障害予防学	4後		1		○		1						兼1		
医用情報科学A	2前		1		○			1					兼1		
医療経済学入門	2前		1		○			1					兼5		
国際医療協力論	4後		1		○								兼3		
医療英語ⅠA	2後		1		○				1					※演習	
医療英語ⅡA	3前		1		○			1						※演習	
小計 (29科目)		—	16	14	0	—		4	2	0	3	0	兼32		
専門 科目	運動学	1後	1			○			1						※演習
	臨床運動学	2後	1			○		1			1				
	運動機能評価学	2前	2			○		1							※演習
	運動機能評価学実習	2後	1				○				1			兼1	
	内部障害学	2後	2			○								兼1	
	神経機能評価学	2前	1			○								兼1	
	神経障害学	2後	2			○								兼1	
	運動機能障害学	2後	2			○		1							
	運動機能再建学	3前	2			○		1							
	小児発達障害学	3後	1			○		1			1			兼5	
	精神障害学Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	精神障害学Ⅱ	2後	1			○								兼1	
	社会精神医学	3後		1		○								兼1	
	老年期特性論	2後	1			○								兼1	
	老年期神経障害論	3前		1		○								兼1	
	理学療法概論	1後	1			○		1							
	機能診断学	2通	1			○				1		1			
機能診断学実習	2通	1				○			1		1				

理学療法治療学総論	2後	1			○					1			
理学療法治療学総論実習	2後	1				○				1			
生活活動支援論	3後	1			○					1	兼4		
生体情報分析学	3後	1			○						兼1		
生体情報分析学実習	3後	1				○					兼1		
運動器理学療法学Ⅱ	3前	1			○			1			兼1		
運動器理学療法学Ⅱ実習	3後	1				○		1	1				
運動器理学療法学Ⅰ	3前	1			○					1	兼3		
運動器理学療法学Ⅰ実習	3前	1				○				1	兼3		
内部障害理学療法学	3前	1			○			1					
内部障害理学療法学実習	3後	1				○		1			兼1		
物理療法学	3後	1			○			1		1	兼2		
物理療法学実習	3後	1				○		1		1	兼2		
神経系理学療法学	3前	1			○			1					
神経系理学療法学実習	3前	1				○		1			兼1		
義肢装具学	3前	1			○					1	兼3		
義肢装具学実習	3前	1				○				1	兼3		
理学療法イントロダクション	2・4前	2				○		4	2	3			
理学療法コミュニケーション	2前	2				○		4	2	3			
基本的臨床技能実習	4前	1				○		4	2	3			
臨床実習Ⅰ	3後	4				○		4	2	3			
臨床実習Ⅱ	4前	5				○		4	2	3			
臨床実習Ⅲ	4前	5				○		4	2	3			
理学療法研究方法論	3前	1			○				1				
体表解剖学実習	2後	1				○			1				
理学療法セミナーⅠ	3後		1		○			1				※演習	
理学療法セミナーⅡ	4前		1			○		1		1	兼1		
卒業研究	3・4後	4				○		4	2	3			
疾患別理学療法学	3後	1			○					2	兼11		
疾患別理学療法学実習	3後	1				○				2	兼11		
地域理学療法学	3後	1			○					1	兼4		
地域理学療法学実習	4前	2				○				1	兼1		
老年期理学療法学	3前		1		○					1	兼1		
スポーツ理学療法学	4後		1		○					1	兼4		
ハンドセラピー学	3前		1		○						兼2		
小計(53科目)	—	69	7	0	—	—	—	4	2	0	3	0	兼51

合計(199科目)	—	87	234.5	0	—	—	—	4	2	0	3	0	兼410
-----------	---	----	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

学位又は称号	学士(リハビリテーション学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)
--------	----------------	-----------	----------------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

全学教育科目は33単位以上、専門基礎科目は必修科目16単位及び選択科目4単位以上を含む合計20単位以上、専門科目は必修科目69単位及び選択科目2単位以上を含む合計71単位以上、専門科目と専門基礎科目を合わせて合計91単位以上を修得すること。卒業要件は合計124単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

※全学教育科目  
 全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位、言語文化から英語4単位、その他外国語6単位、健康・スポーツ科学講義及び実習各2単位を含むこと)、理系基礎科目から9単位以上(数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験から9単位以上を含むこと)、文系基礎科目、文系教養科目及び理系教養科目のうちから6単位以上、文系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目及び開放科目から8単位以上。ただし、全学教養科目及び開放科目で必要単位に含めることができるのは2単位まで。

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(既設 医学部保健学科作業療法学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	基礎セミナー	基礎セミナーA	1前	2				○		2					
		小計 (1科目)		2	0	0	—			2	0	0	0	0	0
	言語文化	英語 (基礎)	1前		1			○							兼21
英語 (中級)		1後		1			○							兼11	
英語 (コミュニケーション)		2前		2			○							兼19	
ドイツ語 1		1前		1.5			○							兼14	
ドイツ語 2		1前		1.5			○							兼14	
ドイツ語 3		1後		1.5			○							兼14	
ドイツ語 4		1後		1.5			○							兼13	
フランス語 1		1前		1.5			○							兼5	
フランス語 2		1前		1.5			○							兼5	
フランス語 3		1後		1.5			○							兼5	
フランス語 4		1後		1.5			○							兼4	
ロシア語 1		1前		1.5			○							兼2	
ロシア語 2		1前		1.5			○							兼2	
ロシア語 3		1後		1.5			○							兼2	
ロシア語 4		1後		1.5			○							兼1	
中国語 1		1前		1.5			○							兼10	
中国語 2		1前		1.5			○							兼10	
中国語 3		1後		1.5			○							兼10	
中国語 4		1後		1.5			○							兼9	
スペイン語 1		1前		1.5			○							兼3	
スペイン語 2		1前		1.5			○							兼3	
スペイン語 3		1後		1.5			○							兼3	
スペイン語 4		1後		1.5			○							兼2	
朝鮮・韓国語 1		1前		1.5			○							兼2	
朝鮮・韓国語 2		1前		1.5			○							兼2	
朝鮮・韓国語 3		1後		1.5			○							兼2	
朝鮮・韓国語 4		1後		1.5			○							兼1	
日本語 (口頭表現) 1		1前		1.5			○							兼2	
日本語 (口頭表現) 2		1前		1.5			○							兼1	
日本語 (文章表現) 1		1後		1.5			○							兼2	
日本語 (文章表現) 2		1後		1.5			○							兼1	
	小計 (31科目)		0	46	0	—			0	0	0	0	0	兼195	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2		○								兼8	
	健康・スポーツ科学実習 I	1前		1				○						兼8	
	健康・スポーツ科学実習 II	1後		1				○						兼7	
	小計 (3科目)		0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼23	
文系基礎科目	哲学	1前		2		○								兼1	
	歴史学	1後		2		○								兼2	
	文学	1後		2		○								兼1	
	地理学	1前		2		○								兼1	
	心理学 I	1前		2		○								兼1	
	心理学 II	1前		2		○								兼1	
	日本国憲法	1後		2		○								兼2	
	法学	1前		2		○								兼1	
	経済学 A	1前		2		○								兼1	
	経済学 B	1後		2		○								兼1	
	国際関係論	1後		2		○								兼1	
	国際開発学	1前		2		○								兼1	
	比較文化論	1後		2		○								兼1	
	統計学	1後		2		○								兼1	
	小計 (14科目)		0	28	0	—			0	0	0	0	0	兼16	



理系基礎科目	数学通論Ⅰ	1前		2		○											兼4	
	数学通論Ⅱ	1後		2		○											兼4	
	物理学基礎Ⅰ	1前		2		○											兼3	
	物理学基礎Ⅱ	1後		2		○											兼1	
	化学基礎Ⅰ	1前		2		○											兼3	
	化学基礎Ⅱ	1後		2		○											兼1	
	生物学基礎Ⅰ	1前		2		○											兼2	
	生物学基礎Ⅱ	1後		2		○											兼2	
	生物学実験	1後		1.5					○	1								
	小計(9科目)			0	17.5	0		—		1	0	0	0	0	0			兼20
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2		○											兼1	
	科学・技術の哲学	2後		2		○											兼1	
	ことばの不思議	2前		2		○											兼1	
	文化を読む	1後		2		○											兼1	
	表象と文化	2前		2		○											兼1	
	芸術と人間	2前・後		2		○											兼2	
	人間と行動	1後		2		○											兼1	
	現代社会と教育	2前・後		2		○											兼2	
	教育と発達の心理	1後		2		○											兼1	
	現代社会と法	2前・後		2		○											兼2	
	民主主義の歴史と現在	1後		2		○											兼1	
	市場経済と社会	2前		2		○											兼1	
	産業社会と企業	1後		2		○											兼1	
	開発の光と影	1後		2		○											兼1	
	社会と環境	2前		2		○											兼1	
	グローバル化時代の国際社会	2後		2		○											兼1	
	グローバル化と国際教育交流	1後		2		○											兼1	
小計(17科目)			0	34	0		—		0	0	0	0	0	0			兼20	
理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後		2		○											兼1	
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2		○											兼1	
	システム工学入門	1後		2		○											兼1	
	情報リテラシー(理系)	1前・後		2		○											兼4	
	情報科学入門	1前		2		○											兼1	
	物理現象の科学	1前		2		○											兼1	
	原子・分子の科学	2後		2		○											兼1	
	物質世界の認識	1後		2		○											兼1	
	物質と科学	1後		2		○											兼2	
	現代の生命科学	2後		2		○											兼1	
	現代医療と生命科学	1前		2		○											兼1	
	生涯健康と医学	2後		2		○											兼1	
	遺伝子の世界	1後		2		○											兼1	
	食と農の科学	1前		2		○											兼1	
	動植物の科学	1後		2		○											兼2	
	地球惑星の科学	1前		2		○											兼1	
	自然環境と人間	1後		2		○											兼1	
	自然環境と人間社会	1前		2		○											兼1	
	環境問題と人間	1後		2		○											兼1	
	都市と環境	1後		2		○											兼1	
	大気水圏環境の科学	1前		2		○											兼1	
	宇宙科学	1前		2		○											兼1	
	博物館概論	1前		2		○											兼1	
小計(23科目)			0	46	0		—		0	0	0	0	0	0			兼28	

全学 教養 科目	現代芸術論	2前・後	2		○										兼2
	芸術と人間精神	2前・後	2		○										兼2
	表象芸術論	2前・後	2		○										兼2
	音楽芸術論	2前・後	2		○										兼2
	科学・技術の倫理	2前	2		○										兼1
	科学技術史	2後	2		○										兼1
	科学技術社会論	2前・後	2		○										兼2
	科学技術とジェンダー	2後	2		○										兼1
	宗教と人類文化	2前・後	2		○										兼2
	異文化論	2後	2		○										兼1
	留学生と日本	2後	2		○										兼2
	名大の歴史をたどる	1前	2		○										兼1
	キャリア形成論	2前・後	2		○										兼2
	大学でどう学ぶか	1前	2		○										兼2
	学問の面白さを知る	1前	2		○										兼1
	切迫する自然災害に備える	2前	2		○										兼1
	アーカイブズ学入門－文書史料の世界をあるく－	2後	2		○										兼1
	ジェンダーの視点から考える21世紀の日本社会	2前	2		○										兼1
	ピア・カウンセリング	2前	2		○										兼1
	小計（19科目）		0	38	0	—			0	0	0	0	0	0	兼28
専門 基礎 科目	人体構造機能学ⅠA	1前	1		○										兼2 ※演習
	人体構造機能学ⅡA	2前	1		○			1							
	人体構造機能学ⅢA	1後	1		○										兼2 ※実習
	人体構造機能学ⅠA実習	1前	1		○										兼2 ※実習
	人体構造機能学ⅡA実習	2前	1				○	1							
	人体構造機能学ⅢA実習	1後	1				○								兼7
	保健生化学A	1前	1		○										兼1
	PT及びOTのための人間発達学	2前	1		○			1							
	公衆衛生学	2前	2		○										兼1
	臨床心理学	2後	1		○			1							兼2
	社会福祉学A	3前	1		○										兼1
	保健医療概論	1前	1		○			1							兼1
	リハビリテーション概論	1前	1		○			2							兼1
	リハビリテーション医学	3前	1		○										兼2
	救急医療学	3前	1		○										兼4
	保健病理学B	2前	1		○										兼2
	神経解剖学	2前	1		○										兼2
	病態人体構造学実習	2前	1	1				○							兼2
	病態人体機能学	2前	1		○			1							
	病態人体機能学実習	2前	1					○	1						
	生体防御学	2前	1		○										兼2
	保健薬理学	2前	1		○										兼2
	医用情報科学A	2前	1		○										兼1
医療英語	2前	1		○			1								
小計（24科目）	—	17	8	0	—			3	0	0	0	0	0	兼24	

専 門 科 目	運動学	1後	1			○								兼1	※演習
	運動機能評価学	2前	2			○								兼1	※演習
	運動機能評価学実習	2後	1					○				1		兼1	
	内部障害学	2後	2			○				1					
	神経機能評価学	2前	1			○			1						
	神経障害学	2後	2			○			1						
	運動機能障害学	2後	2			○								兼1	
	運動機能再建学	3前	2			○								兼1	
	小児発達障害学	3後	1			○								兼6	
	精神障害学Ⅰ	2前	2			○			1						
	精神障害学Ⅱ	2後	1			○			1						
	社会精神医学	3後	1			○			1						
	老年期特性論	2後	1			○								兼1	
	老年期神経障害論	3前		1		○			1						
	ライフサイクル精神医学	3後		1		○			1						
	精神科リハビリテーション論	4後		2		○			1						
	作業療法基礎学Ⅰ	1前	1			○			1						※演習
	作業療法基礎学Ⅰ演習	1後	1					○				1	1		
	作業療法基礎学Ⅱ	1前	1			○			1			1			※演習
	作業学Ⅰ及び実習	1前	1			○				1				兼1	※実習
	作業学Ⅱ及び実習	3前	1			○							1	兼1	※実習
	作業学Ⅲ及び実習	3後	1			○				1			1		※実習
	作業療法評価学及び実習	2前	1			○			1						※実習
	身体障害作業療法評価学及び実習	2後	1			○				1					※実習
	身体機能作業療法学	2後	1			○			1						
	身体機能作業療法学演習	3前	1					○			1				
	運動統合作業療法学	3前	1			○			1						※演習
	運動統合作業療法学実習	3前	1			○			1						※実習
	精神心理作業療法学	2後	1			○						1			
	精神障害作業療法評価学及び実習	2後	1			○						1			※実習
	発達障害評価学	3前	1			○			1						
	発達障害治療学及び実習	3後	1			○			1						※実習
	老年期作業療法学	3前	1			○			1					兼1	
	老年期作業療法学演習	3前	1			○				1				兼1	※演習
	高次神経障害作業療法学及び演習	3後	1			○				1					※演習
	生活行動作業療法学及び実習	3後	1			○				1					※実習
	生活行動作業療法学及び演習	3後	1			○							1		※演習
	装具作業療法学	3後	1			○			1						
	装具作業療法学実習	3後	1						1						
	職業関連作業療法学及び演習	3前	1			○				1		1			※演習
	作業療法入門実習	1前	1						○	1		1	1		
	作業療法基礎学実習	2後	2						○	3	2	1	2		
	作業療法学臨床実習Ⅰ	4前	6						○	3	2	1	2		
	作業療法学臨床実習Ⅱ	4前	6						○	3	2	1	2		
	作業療法学臨床実習Ⅲ	4前	6						○	3	2	1	2		
	卒業研究	3・4後	4					○		3	2	1	2		
	地域作業療法学	3後	1				○			1		1		兼1	
	臨床応用学実習	3後	1						○	3	2	1	2		
	作業療法研究法及び演習	3前		1			○			1					※演習
	環境適応作業療法学	3前		1			○			1					
身体障害作業療法臨床実践学	3後		1			○			1						
作業療法管理運営学	3後		1			○			1					※演習	
作業療法理論学	3後		1			○				1				※演習	
認知作業療法学	3後		1			○			1					※演習	
ハンドセラピー学	3前		1			○						1	兼1		
心身医学的作業療法学	3前		1			○			1						
活動療法論	4後		1			○				1				※実習	
地域作業療法学演習	4後		1			○			1				兼1	※演習	
地域作業療法学実習	4前		1					○	1						
小計(59科目)	—		70	15	0	—			3	2	1	2	0	兼16	
合計(200科目)	—		89	236.5	0	—			3	2	1	2	0	兼368	

学位又は称号	学士（リハビリテーション学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
全学教育科目は33単位以上、専門基礎科目は必修科目17単位及び選択科目3単位以上を含む合計20単位以上、専門科目は必修科目70単位及び選択科目4単位以上を含む合計74単位以上を修得すること。卒業要件は合計127単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。			1 学年の学期区分	2 学期
			1 学期の授業期間	1 5 週
			1 時限の授業時間	9 0 分
<p>※全学教育科目  全学基礎科目から16単位以上（基礎セミナー2単位、言語文化から英語4単位、その他外国語6単位、健康・スポーツ科学講義及び実習各2単位を含むこと）、理系基礎科目から9単位以上（数学通論Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎Ⅰ・Ⅱ、化学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学基礎Ⅰ・Ⅱ、生物学実験から9単位以上を含むこと）、文系基礎科目、文系教養科目及び理系教養科目のうちから6単位以上、文系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目、全学教養科目及び開放科目から8単位以上。ただし、全学教養科目及び開放科目で必要単位に含めることができるのは2単位まで。</p> <p>※専門科目の選択科目については、「作業療法研究法及び演習」を含むこと。</p>				

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。